

## 第 10 回みんなの会議事録

日時:令和 元年 5 月 8 日(19:00~20:55)

場所:富士市民活動センターコミュニティ f

議題:開始時のビオトープはどのような状態がいいか決めよう

### 議事次第

#### 1. ビオトープの開始時について(若月さんからのご説明)

- 1) 森林環境創造ゾーン、屋外啓発ゾーンは市の発注によって行う。
- 2) 屋外啓発ゾーンは、青葉台地区との協定があるので、お任せいただきたい。  
植栽については変更の余地があります。
- 3) 屋外啓発ゾーンは、東屋、遊具、畑(食品リサイクル、ダックスくんた君等)、芝生広場、トイレ、駐車場等で構成。  
シンボルツリーは、くすのき。遊具、ベンチはリサイクル材を使ったもの。
- 4) 森林環境創造ゾーンは、常葉大学の山田辰美先生監修により事業者が設計しています。
- 5) モリアオガエルの池は、岩場にトカゲ、オオタカの食料(木の実)環境アセスメントの結果希少な生物であるため、保存するために池を設置している。
- 6) 植栽については決定していない。
  - 園芸種ではなく在来のものを選びました。園道(スコリア敷き)、池については設計のままにしてください。大きく変えることは難しいです。
  - 薪炭林エリアはドングリの木を 3 種類ほど植える。
  - 落葉樹エリアは、開園後植樹していく(点線で囲った範囲)、中木(1.5~2m)10 年程度で完成するイメージ。
  - 池の水は井戸の水は少量の水をかけ流しとする(枯れ沢)。
  - 湿地は 10cm 程度の浅い池を設置した。
  - 水場は沢、池、湿地である。最終的に調整池に流し込む。

#### 2. 山田先生のご意見

- 1) ちゃんとしたものを最初からつくる必要はないのではないかと。高木、低木、下草がそろっているものではない。できてきたものをどう利用するか重点をおいて考えたい。
- 2) 学習センターに来た人をビオトープ内で活動する場所があるとよい。指導員が必要。
- 3) ビオトープのイメージは大淵地区の自然が一角にある。
- 4) 辰美先生への相談の結果できたものならば、一定のレベルにあるが、利用者の目線から既に相談を行った。
- 5) 下草が茂り過ぎると見た目はいいが入ることができない。道が入りやすいようにした方がいいかなど、利用しやすく、富士山南麓の自然をもってくるようにしたい。
- 6) 自然観察において感動(おもしろい!と思えるもの)を選びたい。例えば、野生ランといった貴重なものではなく、普通の山野草や樹木の中に自然を学べるものが多い。
- 7) 管理の継続ができていない場所がある。  
原田小学校のせせらぎ園、吉永第小学校のビオトープは現在もかわりをもっている。山に

行ってとってきた植栽である。

- 8) ビオトープの規模では、あれこれ植えすぎると、木を切ることになる。また、先生に管理をまかせると手が回らない。指導する人がいないと利用されないことになる。木で作った橋の改修。利用せず、金のかかるものになる。

### 3. 更なる利用のためには(Q&A)

- 1) 指導員が必要
- 2) 整備・改修に費用がかかる(木の橋は腐る、木は成長する)
- 3) 市民が参加する仕組みが必要
- 4) 指導はやる気はあります。観察会はできたその日からやります。自然の循環というのは岩石、シダ、雑草等が育つ中で、気持ちは毎週やりたい。時間帯が難しい。平日は子供やお年寄りが対象。毎月10日に観察会をしている。5日は須津川で観察会をしている。毎月1回は土日に観察会をしたい。この自然の中で観察会をしたい。
- 5) 草→蚊が出てきた。芽生えから、植物の種類の観察。
- 6) 自然のものを持ち寄って植えてみよう。ある程度計画的に植えていくことも大事ではないか。みんなで勉強がてら植えていく。
- 7) 指導体制を引き継いでいくことが大事。
- 8) 管理業務は川崎重工。選択的除草くらいかな。
- 9) 市民が参加する仕組み。
- 10) 指定管理者から頼まれたら、富士自然観察の会で調整をしながら、指導員等だしていきたい。指導員の育成も、指定管理者から依頼があればできる限り協力していきたい。
- 11) 実のなる木はありますか?
  - 森林環境創造ゾーン、ドングリ(種類を多く)。
  - 屋外啓発ゾーンでは、ブルーベリー、グミ、紅葉いちごなど。
- 12) 畑で野菜をつくるのはいい。農業体験も含めて。農機具を入れる倉庫あり。駐車場から近い、水道の確保。調理室ででた生ごみをたい肥にして、利用するとかが考えられる(いきいきファーム、EM ぼかし、ダックスくんた君)
- 13) 看板、サインについて。
  - 案内看板はトイレ北東側に西向き(日焼けしない向きにする)。
  - ビオトープ内には看板はない。
  - 手作りで更新しやすいものにする。
- 14) 現在の進捗状況。
  - 詳細設計が終わってからご相談します。植栽関係。
- 15) 環境啓発棟周りの植栽にもの申したい。
  - 事業者の方で設計はすんでいます。後日説明させていただきます。
  - 設計施工付の一括発注です。

### 4. 市事業の今年度のイメージ(20:55~21:00)

循環啓発棟の愛称募集(公募、選定方法)、ボランティア講座、周知方法等々、これまでの意見の整理をしていきたい。